

松江市鹿島町で開花が確認されたグンバイヒルガオ

松江市 野津 貴章

2011 年 11 月 12 日に島根県松江市鹿島町の古浦海岸の砂浜でグンバイヒルガオ (*Ipomoea pes-caprae* (L.) Sweet) の開花を確認しました。

古浦の砂浜海岸は川を挟んで海水浴場のある東部と西部に分かれます。東部は長さ約 300m、幅 100～40m、西部は広い場所は長さ 250m、幅 90m くらいです。

東部は海水浴場となるため、夏に芽を出した植物は、たくさんの海水浴客に踏み荒らされてしまいます。西部の砂浜はあまり人が入ることもなく、普段波のあたらない場所はハマニンニク、ハマヒルガオ、センダングサ、ハマゴウ、コマツヨイグサ、カワラヨモギ、オオオナモミなどが生えています。

東部のグンバイヒルガオは波打際から 50m と海岸から離れた場所にあります。西部のグンバイヒルガオは波打際から約 30m、川から約 50m の範囲の中だけにあります。

今回の確認の経過は、10 月 9 日に倉敷市立自然史博物館の学芸員狩山俊吾氏が鹿島町の海岸でグンバイヒルガオを見たという友の会のメールを見つけたことに始まりました。場所を教えてもらい、10 月 15 日にその株を確認しました。(表中 No 1 の個体)

11 月 12 日にその後の様子と他の場所を調べ、合計 6 株を確認し、そのうち 1 株に開花と蕾を確認しました。

11 月 16 日に再度詳しく観察し、1 株を追加し合計で 7 株を確認し、開花はありませんでしたが蕾のついたものを 2 株確認しました。(表 1)

花や蕾をつけた大きなものは越冬した可能性がありますが、本当に越冬できているのか、今後も観察を続けようと思います。

なお、素人の観察ですので、計測数値等は概ねのものです。

12 月 14 日には全ての株が枯れた様子でした。やはり越冬はむりのようです。

表 1 古浦海岸のグンバイヒルガオの分布状況 (2011 年 11 月 16 日)

場所	No	枝の数 本	最長枝の 長さ cm	各枝の長さ cm	最大葉の長さ- 幅 cm	花、蕾	汀からの距 離 歩※
東部	1	2	80	80,44	3.0 - 3.0	なし	60
西部	2	砂に埋もれ不明		範囲 38 cm	2.5 - 2.2	なし	39
	3	3	48	48,5,5	5.5 - 6.0	なし	37
	4	2	98	98,9	6.5 - 5.0	なし	35
	5	6	350	350,230,195, 140,64,34,2 2	6.5 - 6.5	蕾	35
	6	8	450	450,325,267, 85,50,45,40, 15	9.0 - 9.5	花、蕾	31
	7	3	86	86,5,2	5.5 - 5.0	なし	35

※ 1 歩は 75～90cm

砂浜（西部）の状況

写真上部を横切るコンクリート構築物の手前に川があり、向こう側が海水浴場（東部）



11月12日 No 6 開花した株



11月16日 No 5 蕾のある株



11月16日 No 1



No 2



No 3



No 4



No 7

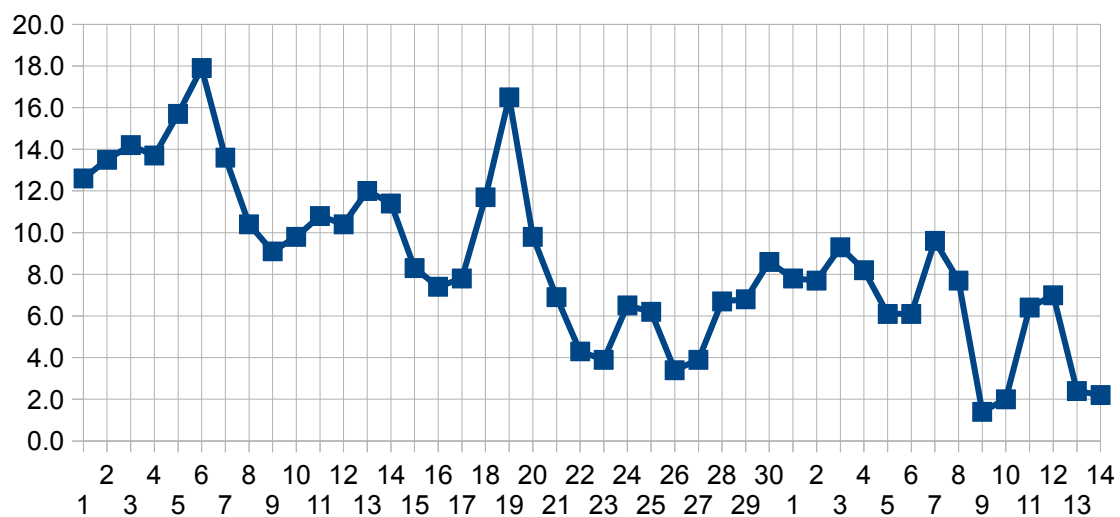


12月14日 全ての株が葉が枯れ、茎も枯れた様子でした。



2011年11月1日～12月14日までの鹿島町の最低気温。11月下旬から最低気温が5度以下となる日が現れました。

鹿島町の2011年11～12月の最低気温



この報告に関するお問い合わせは、n_yoshiyuki (@) mac.com (@の前後の () を取ってください。) 野津貴章 (のつよしゆき) をお願いします。

松江の花図鑑 <http://matsue-hana.com/>